

第12回腫瘍病理セミナー

北陸がんプロFD講演会

Unraveling the contribution of the ELMO/DOCK180/Rac pathway to development and cancer

Institut de Recherches Cliniques de Montréal (IRCM), Canada

JEAN-FRANCOIS CÔTÉ



Nat Cell Biol. 2005

PNAS 2008

PNAS 2013

Cote 博士は、低分子量 G 蛋白質の活性化因子、DOCK ファミリーの研究に従事している癌研究の若きホープです。ポストドク時代はイノシトールリン脂質が結合することで細胞内局在が変化することを発見し、独立後はノックアウトマウスを作製して、筋分化に重要であることを報告してきました。最近では、乳腺細胞特異的に DOCK180 を消失させるマウスを作製し、乳がんの転移に関与する報告をしました。

九州大学の福井宣規教授との共同研究打ち合わせで来日する機会を利用して、最先端の研究成果を紹介して頂くセミナーを企画しました。

たくさんのご来聴をお待ちしています。

日時：1月16日（木） 17時から
金沢医科大学病院 新館12階 大会議室

主催：病理学 I 清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp 内線 3611